

I. 事業概要

〔1〕学校施設

1. 耐震補強

(1) 概要

地震防災対策特別措置法に基づく地震防災緊急事業五箇年計画により、文部科学省の補助事業として、耐震補強工事を実施

(2) 内容

耐震壁新・増設、ブレース施工(鉄筋すじかい工法)

2. 大規模改造

(1) 概要

経年により発生する学校建物の損耗、機能低下に対する復旧措置及び教育内容に対応するための改装等の大規模な改造（耐震補強工事と併せて実施）

(2) 内容

屋上防水工事、外壁改修(塗替)、内部改修(床貼替、壁塗替、天井貼替)

3. 施設のバリアフリー対応

階段手摺や洋式トイレを設置し、児童生徒にやさしい施設整備を実施

4. その他

校舎、体育館、運動場、プール等、安全でゆとりと潤いのある施設整備を実施

金沢市小学校通学区域図



〔2〕通学区域審議会

本市では、人口のドーナツ化や過疎化現象により、地域により児童生徒数に増減が生じ、教育環境のアンバランスが生じたため、昭和48年度に、条例により金沢市立小学校及び中学校通学区域審議会を設置し、全市的な通学区域の適正化に取り組んでいる。

ア 設置年月

昭和48年10月（金沢市立小学校及び中学校通学区域審議会設置条例）

イ 構成メンバー(任期2年)

住民自治組織 2人 小・中学校長 2人

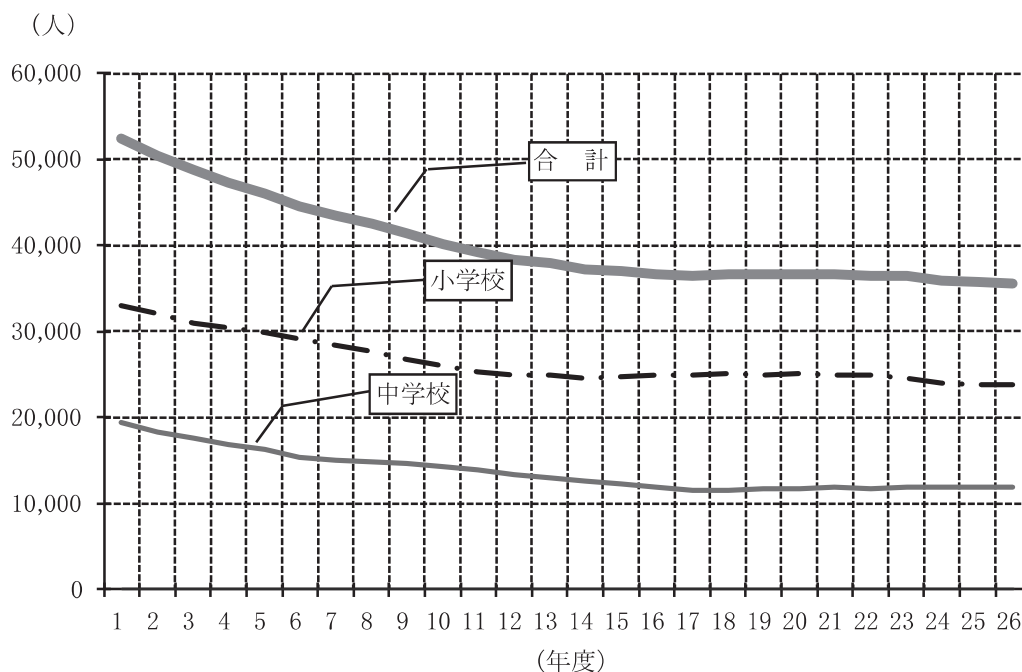
教育関係団体 2人 知識経験者 2人 計8人

ウ 通学区域の基本方針

教育環境を考慮し、31学級を超える場合は、学校の分離独立や通学区域の変更により、学校の適正規模化に努める。

また、1学年1クラス以下の場合には、学校の統合や通学区域の変更により、学校の適正規模化に努める。

II. 児童生徒数の推移



年度	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
小学校	24,919	25,131	24,903	25,022	24,847	24,841	24,614	24,042	23,802	23,734
中学校	11,564	11,531	11,774	11,694	11,831	11,638	11,822	11,846	11,937	11,904
計	36,483	36,662	36,677	36,716	36,678	36,479	36,436	35,888	35,739	35,638

(各年度5月1日現在)

III. 金沢市内の学校教育施設

(平成26年5月1日現在)

区分	幼稚園		小学校			中学校				特別支援学校		高等学校					短期大学	大学 (大学院含む)			
	国法	私立	国法	市立	私立	国法	県立	市立	私立	県立	国法	県立	全日制			定時制		国法	公法	私立	
													盲ろう学校	養護学校	国法		県立				市立
学校(園)数	1	36	1	57(1)	1	1	1	24(1)	2	2	1	2	1	11	1	6	1	3	1	1	4
学級数	5	258	20	922	6	12	9	390	9	40	9	114	9	247	18	187	15	-	-	-	-
児童・生徒・学生数	119	4,963	658	23,734	92	466	354	11,904	282	99	58	392	377	9,586	715	6,305	327	219	10,538	730	7,245
教職員数	8	557	28	1,434	14	25	21	777	56	80	33	231	25	690	66	542	47	33	2,497	76	555

(注)・()は分校で外数

- ・国法は国立大学法人金沢大学が設置する附属学校等
- ・公法は公立大学法人金沢美術工芸大学